



IPv6 コマンド

- [ipv6 flow monitor, 1 ページ](#)
- [ipv6 traffic-filter, 2 ページ](#)
- [show wireless ipv6 statistics, 3 ページ](#)

ipv6 flow monitor

このコマンドは、着信または発信トラフィックを分析するためにインターフェイスに割り当てることで、作成済みのフロー モニタをアクティブにします。

以前に作成したフローモニタをアクティブにするには、**ipv6flowmonitor** コマンドを使用します。フロー モニタを非アクティブにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

ipv6 flow monitor *ipv6-monitor-name* [**sampler** *ipv6-sampler-name*] {**input**| **output**}

no ipv6 flow monitor *ipv6-monitor-name* [**sampler** *ipv6-sampler-name*] {**input**| **output**}

構文の説明

<i>ipv6-monitor-name</i>	着信または発信トラフィックを分析するためにインターフェイスに割り当てることで、作成済みのフロー モニタをアクティブにします。
sampler <i>ipv6-sampler-name</i>	フロー モニタ サンプラーを適用します。
input	入力トラフィックにフロー モニタを適用します。
output	出力トラフィックにフロー モニタを適用します。

コマンド モデル

IPv6 フローモニタは、インターフェイスに割り当てられるまでアクティブになりません。

コマンド履歴

リリース	変更内容
Cisco IOS XE 3.2SE	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

ポート チャネル インターフェイスには NetFlow モニタを接続できません。両方のサービス モジュール インターフェイスが EtherChannel の一部である場合、両方の物理インターフェイスにモニタを接続する必要があります。

次に、フロー モニタをインターフェイスに適用する例を示します。

```
Device(config)# interface gigabitethernet 1/1/2
Device(config-if)# ip flow monitor FLOW-MONITOR-1 input
Device(config-if)# ip flow monitor FLOW-MONITOR-2 output
Device(config-if)# end
```

ipv6 traffic-filter

このコマンドは、IPv6 トラフィック フィルタを有効にします。

インターフェイスでの IPv6 トラフィックのフィルタリングを有効にするには、**ipv6traffic-filter** コマンドを使用します。インターフェイスでの IPv6 トラフィックのフィルタリングを無効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

インターフェイス上で IPv6 トラフィックをフィルタ処理するには、スイッチスタックまたはスタンドアロン スイッチ上で **ipv6 traffic-filter** インターフェイス コンフィギュレーション コマンドを使用します。フィルタリングできるトラフィックのタイプと方向は、スイッチスタックで稼働するフィーチャセットによって異なります。インターフェイスでの IPv6 トラフィックのフィルタリングを無効にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

ipv6 traffic-filter [web] acl-name

no ipv6 traffic-filter [web]

構文の説明

web	(任意) WLAN Web ACL の IPv6 アクセス名を指定します。
acl-name	IPv6 アクセス名を指定します。

コマンド デフォルト
コマンド モード

インターフェイス上での IPv6 トラフィックのフィルタリングは設定されません。
wlan

コマンド履歴

リリース	変更内容
Cisco IOS XE 3.2SE	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

デュアル IPv4/IPv6 テンプレートを設定するには、**sdm prefer dual-ipv4-and-ipv6 {default | vlan}** グローバル コンフィギュレーション コマンドを入力し、スイッチをリロードします。

物理インターフェイス（レイヤ 2 またはレイヤ 3 ポート）、レイヤ 3 ポート チャネル、またはスイッチ仮想インターフェイス（SVI）で **ipv6 traffic-filter** コマンドを使用できます。

ACL をレイヤ 3 インターフェイス（ポート ACL）の発信または着信トラフィックに、またはレイヤ 2 インターフェイス（ルータ ACL）の着信トラフィックに適用できます。

いずれかのポート ACL（IPv4、IPv6、または MAC）がインターフェイスに適用された場合、そのポート ACL を使用してパケットをフィルタ処理し、ポート VLAN の SVI に適用されたルータ ACL は無視されます。

次に、インターフェイスで IPv6 トラフィックをフィルタ処理する例を示します。

```
Device(config-wlan)# ipv6 traffic-filter TestDocTrafficFilter
```

show wireless ipv6 statistics

このコマンドは、IPv6 パケット カウンタの統計を表示するために使用します。

IPv6 パケット カウンタの統計を表示するには、**show wireless ipv6 statistics** コマンドを使用します。

show wireless ipv6 statistics

コマンド デフォルト

なし。

コマンド モード

ユーザ EXEC

コマンド履歴

リリース	変更内容
Cisco IOS XE 3.2SE	このコマンドが導入されました。

次に、IPv6 パケットカウンタの統計の概要を表示する例を示します。

```
Device# show wireless ipv6 statistics
NS Forwarding to wireless clients      : Enabled

RS count                               : 0
RA count                               : 0
NS count                               : 0
NA count                               : 0
Other NDP packet count                 : 0
-----
Non-IPv6 packets count                 : 0
Non-IPv6 Multicast Destination MAC packet count : 0
Invalid length packets count          : 0
Null packets count                    : 0
Invalid Source MAC packets count      : 0
-----
TCP packets count                      : 0
UDP packets count                      : 0
Fragmented packets count              : 0
No next header packets count          : 0
Other type packets count              : 0
-----
Total packets count                    : 0
-----
Blocked RA packets count               : 0
Blocked NS packets count               : 0
```